

# 生活の中の安全を 考えてみよう

— 高校生のためのリスク学入門 —

3月15日

10:00 — 16:00

※ 昼食をご用意ください

会場：静岡県立大学 経営情報学部棟1階講義室4109（裏面の地図参照）

対象：高校生（高校生以外で参加希望の方は下記問い合わせ先までご連絡ください）

## ■ 申込方法

下記のURL または右のQRコードにアクセスしていただき、必要事項をご記入ください。

※ 3月9日（月）締切、先着約30名程度まで [URL] <https://forms.gle/am1aSmYWz7hKGxyh9>

※ 団体で申し込まれる場合は、受講者名をまとめて下記問い合わせ先までご連絡ください。

※ 締切後でも受け入れが可能な場合があります。下記問い合わせ先までご連絡ください。



## ■ 何が学べるの？

私たちは、日常生活でも、災害や事故・事件が起こった場合でも、「安全かどうか」という話をします。家族や先生から「あそこは危険だから行ってはダメ」と言われた経験がある人も多いでしょう。でも、安全と危険の境目は誰がどうやって判断しているのでしょうか？ 2011年に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災の原因となった地震）の直後は地震や放射性物質のリスクに、そして新型コロナウイルス感染症が流行してからは感染症のリスクに関心が寄せられました。2025年も埼玉県八潮市の道路陥没事故や大手企業に対するサイバー攻撃など、さまざまな分野で安全やリスクについて考えさせられる出来事が発生しています。このセミナーは、「安全の科学」に携わる研究者と一緒に、科学や社会に興味のある高校生が安全やリスクについて考え、学ぶ機会を提供するものです。

## ■ 何をするの？

食品、薬品、化粧品など身の回りの化学物質や、感染症等の具体的な事例を題材に、「安全とは何か」「リスクとは何か」について考えるための講義と、あるシナリオのもと、みなさんに役割を割り当て、それぞれの立場から問題をどのように捉え、どう対策するかを考えるロールプレイをおこないます。

主催

静岡県立大学 経営情報学部

問い合わせ先

静岡県立大学 経営情報学部 上野雄史

✉ [ueno@u-shizuoka-ken.ac.jp](mailto:ueno@u-shizuoka-ken.ac.jp)

☎ 054-264-5241

（なるべくメールでお問い合わせください）

## 講師・話題提供者等一覧



**上野雄史**

うえ の たけふみ

静岡県立大学 経営情報学部

専門は財務会計、国際会計、経営分析。有価証券報告書におけるリスク情報に関する有用性や企業の評価に与える影響分析をおこなっている。



**内藤博敬**

ないとうひろたか

静岡県立農林環境専門職大学 生産環境経営学部

専門は環境微生物学・細菌学・ウイルス学・プロテオミクス。ウイルスや細菌の感染予防対策法とその効果について幅広く研究する。ヘルスケアプランナー検定協会、理事。JST 理科大好きボランティアとしても活動している。



**小野恭子**

お の きょうこ

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

専門はリスク評価、土木環境工学。化学物質リスク評価に関して手法開発と実務の双方に携わる。カドミウム、六価クロム等についてリスク評価結果を書籍として公表している。



**戸敷浩介**

と しきこうすけ

宮崎大学 地域資源創成学部

専門は都市廃棄物処理、国際資源循環。環境影響、エネルギー、経済性の視点から、アジアにおける廃棄物由来の環境負荷抑制と資源回収に関する研究を幅広くおこなっている。



**岸本充生**

きしもと あつお

大阪大学 データビリティフロンティア機構

専門はリスクの評価、経済分析、リスクガバナンス。安全の問題を、対象や学問分野を超えて、横断的に研究しているなかで、伝統的な科学とは性格の異なるレギュラトリー・サイエンスの普及活動をおこなっている。



**小栗朋子**

お ぐりとも こ

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

専門は環境保健学、曝露評価、微量元素分析。ヒトの健康にかかわる環境化学物質、特に有害金属類の曝露評価、さらにはリスクの低減という視点で研究をおこなっている。



**関谷 翔**

せき や しょう

東邦大学 理学部

専門は科学技術社会論、リスク論、科学技術コミュニケーション論。東京大学大学院で特別研究員として研究するかたわら、サイエンスコミュニケーターやリスクコミュニケーターとしても活動している。

## 会場の地図

静岡県立大学 草薙キャンパス

経営情報学部棟 1 階講義室 4109

正門から入り、まっすぐ歩いて左手にある建物です

